



第3号 令和4年5月27日(金)発行

敦賀気比高等学校・同附属中学校 教育相談室

メールアドレス sodan@tsurugakehi.ed.jp

存在することで意味がある



越前市から白山が見える場所がある。

5月の中旬、天気がよく見晴らしのよい日には、真っ白に輝く姿を遠くに臨むことができる。

この時期に眺める真っ白な雪山は、街の陽気とは異質で際立っていて神々しい。

その雪山が、今年は所どころ白黒のまだら模様になっている。

どうやら、今年は積もった雪が少なかったようだ。

自然の中の公園を、ぶらりと歩く。

ゆっくり足を進めながら周囲を見わたすと、多くのことに気づく。

草や木々は芽吹き、様々な若葉をつけている。

茶色の大地や深緑色の山々に、鮮やかな若葉色が広がっていくさま様に、生命の息吹を感じる。

小鳥のさえずり。小川のせせらぎ。風に揺れる木々の微かな葉音とともに、若葉の匂いが漂ってくる。

空気にはまだ冷たさを感じるものの、陽の光を浴びて歩いていると、時おり頬を撫でる風が心地よい。

いつも歩き慣れた道ではあるが、様々な変化を感じ、楽しむことができる。



部屋には感じ取ることのできない、変化という多くの情報が向こうからやってくる。

部屋の中は、ヒトがつくり出した人工物の世界。そこにヒトの意図がなければ、変化はやってこない。

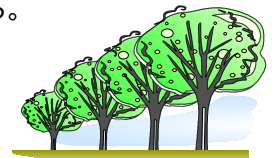
屋外には、ヒトがつくり出せない、因果関係による緻密な連携から成り立つ自然の世界が広がっている。

陽の光を浴びて、無機質な物質がまるで生を受けたかのように振る舞い変化する。

その中を、大小様々な多くの生命体が切磋琢磨して躍動する。

日々、変化する現象とその風景。その中を今、歩いていることに喜びを感じる。

時には、大きな変化に驚き、翻弄されることもあるが…



ヒトの社会も日々変化している。

生命体であるヒトも自然の一部ではあるが、ヒトが創造する人工物は自然とは異質で孤立している。

ヒトは脳に情報を蓄積し、その情報により動き、周囲と交流することによって社会生活を営んでいる。

情報とは過去であり、AI(人工知能 *artificial intelligence*)も過去の延長線上にある。

ヒトは過去という情報に満ちた空間をつくり上げ、日々の多くの時間をそこで過ごしている。

情報は蓄積し、組み合わせることで使ってこそ意味があるが、自然は存在することで意味がある。

あなたは両方を併せ持つヒトである。

まずは、この世に生を受け、存在することで意味がある。

では次に、あなたなら、どのような情報を蓄積し、どのように組み合わせる使っていくのだろうか？

元をたどればすべては一つなのだが、自然の発現は多種多様で、ヒトは十人十色。

この生を奇跡と思うか平凡と思うかでは、天と地の差がある。

あなたにできることをやっいていこう。

それがいい。



スクールカウンセリングのご案内

6月は、下記の日程でスクールカウンセリングを行います。

気持ちが少し疲れて、誰かと話してみたいと思う人は、担任の先生あるいは教育相談室まで申し出てください。

第1回 7日(火) 第2回 14日(火) 第3回 21日(火) 第4回 28日(火)

※ スクールカウンセラーの先生のご都合で、日程が変更になることがあります。
あらかじめご了承ください。

